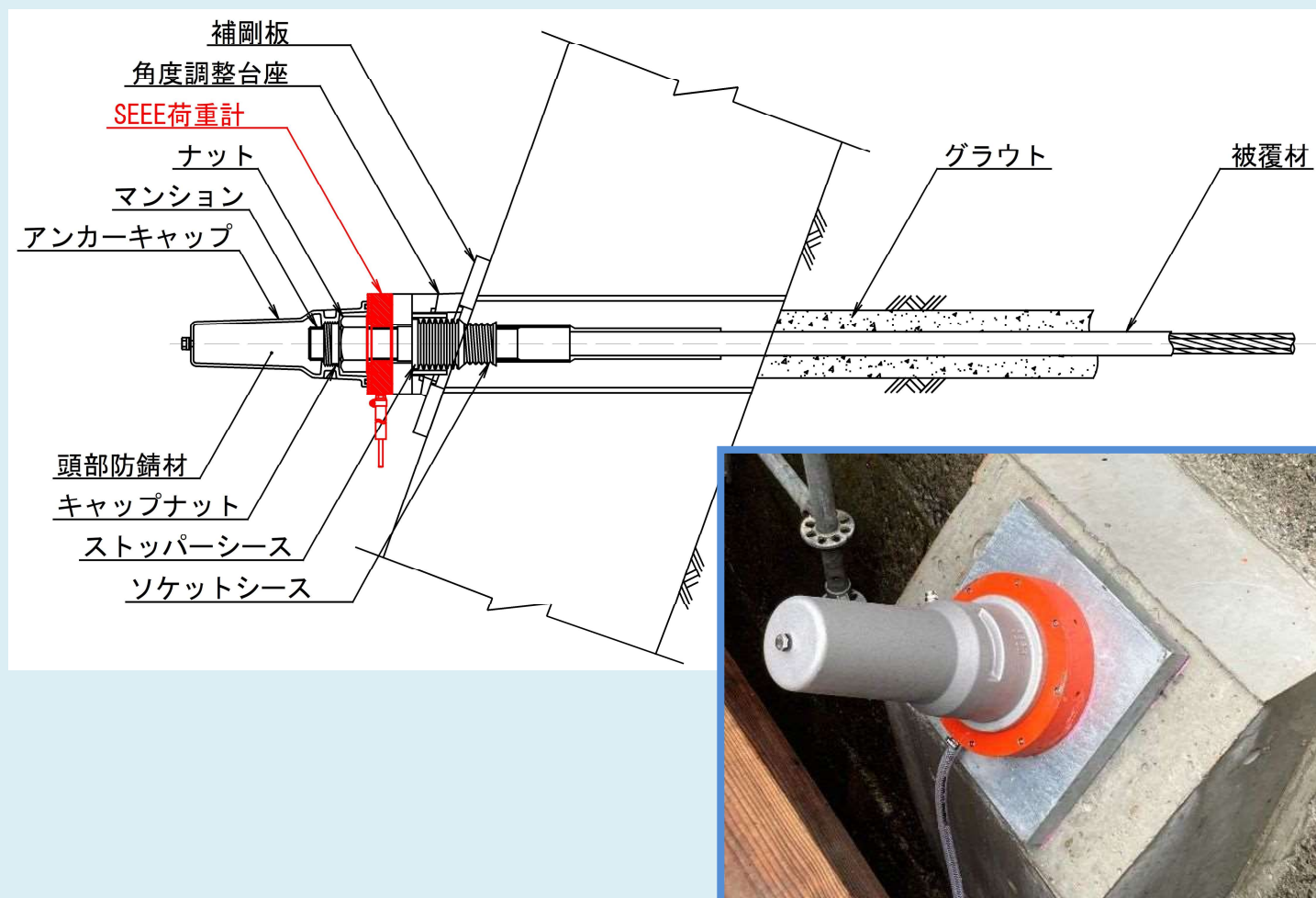


SEEE荷重計

薄型・コンパクト・補修可能

荷重調整性能に優れるナット定着方式のSEEE工法と組み合わせて使用することで、モニタリング中の荷重変化に対して残存引張力を適切に調整することが可能になり、長期にわたって斜面の安定性を保つことができます。

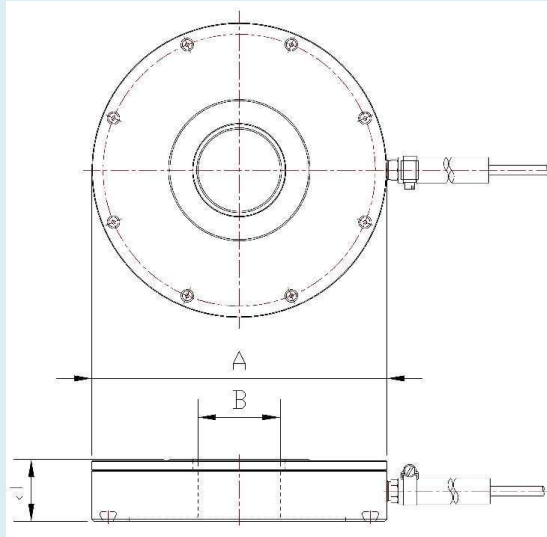


カバーの色は変更になる可能性があります。

【特長】

- ✓ 専用設計のため、支圧板を介さず残存引張力の計測が可能
- ✓ 従来の荷重計と比較して薄型，軽量であり設置が容易
- ✓ 専用設計のため、センタリング調節が容易で偏心誤差が少ない
- ✓ 製品高さが低いため、余長に50mm程度の余裕があれば既設アンカーにも設置可能
- ✓ 設置したままで、荷重計内部の計測用ゲージ取り換えによる補修が可能

● 寸法一覧



タイプ	許容荷重	A	t	B	適用アンカータイプ	
	(kN)					
Type-1	222	155	33	38	F20UA	F20TA
Type-2	422	155	33	44	F40UA F50UA	F40TA
Type-3	668	155	36	50	F60UA F70UA	F50TA
Type-4	826	170	44	58	F100UA	F60TA F70TA
Type-5	1092	200	44	64	F110UA F130UA	F100TA
Type-6	1428	200	52	74	F170UA	F110TA F130TA
Type-7	1554	220	50	80	F190UA	F170TA

SEEE工法F型にも適用可能です。詳細は弊社担当者までお問い合わせください。

【荷重計の補修について】

アンカーを定着したまま、荷重計内部の計測用ゲージを取り換えることが可能※です。計測に不具合が生じた場合でも、本体を交換せずに供用を継続することができます。

※補修時点の残存引張力が不明な場合、補修時点からの相対的な荷重変化を計測することになります。



株式会社エスイー URL <http://www.se-kankyobosai.jp/>

環境防災部 〒163-1342 東京都新宿区西新宿6-5-1新宿アイランドタワー42F TEL:03-5321-6515 FAX:03-5321-6519